

平成 26 年度認定



氏名 嵩西 洋子 (たけにし ようこ)

昭和 29 年生

住所 沖縄県石垣市

分野 ピパーチ (島胡椒)

技術の内容と活動状況

- ・ ピパーチ (和名ヒハツモドキ) は、東南アジア原産のコショウ科作物で当地では熟果を収穫・乾燥し、炒って粉砕したものを香辛料として利用。雌雄異株だが、当地では雄株が見つかっておらず種子繁殖ができないため、これまで増殖が難しく経済的栽培は困難とされてきた。
- ・ 食・薬用として普及するため、ピパーチの増殖に取り組んだ結果、形態的特性や生理生態の観察から挿し木による大量増殖技術の確立に成功。発根率 80%を確保。
- ・ 栽培は、原産地の環境を模倣し、木本性ハーブとの混植により半日陰状況を再現し農薬・化学肥料に依存しない有機栽培。ジャムやソルト等の調味料も試作し、商品化。
- ・ 石垣島でハーブ教室を主宰し、ピパーチの増殖・普及栽培方法について生産者等に助言・指導するとともに加工品の開発にも取り組む。

相談・指導に  
応じられる分野

- ・ ピパーチ (島胡椒) について、現地 (全国) において栽培管理、生産、加工技術についての相談や指導等の講師。
- ・ 自園でのスクール開催や視察の受け入れ、技術指導等の開催。
- ・ テレビや出版社等の報道機関の取材の受け入れ、出演受諾。
- ・ 全国に八重山のハーブ文化を発信するため、講演依頼の受け入れや食育のため、小・中・高校生等に対して、食文化を伝承するための講師を受諾します。

国・都道府県・  
中央団体等の  
受賞歴

- ・ 月刊誌情報やいま「嵩西洋子のハーブファイル」2000年3月～
- ・ 八重山毎日新聞「八重山のハーブ」連載中 (61回)
- ・ 琉球新報社「八重山のワイルドハーブ」2009年4月～
- ・ 日本トランスオーシャン航空機内誌「石垣島・暮らしを彩るハーブ」連載中

主な役職

最近の活動状況

HP